



「新しい学校づくり」通信



義務教育学校（令和6年開校予定）の校名が決まりましたのでお知らせします。

9月27日（水）に開催された川根本町9月議会において、「義務教育学校設置条例」が可決され、令和6年度に開校する義務教育学校の校名が決定しましたのでお知らせします。

9年制の義務教育学校という新しい形の学校を、保護者、地域の皆さんとともに創っていくこととなります。今後ともどうぞよろしくお願いたします

～南部地域の義務教育学校名～

川根本町立^{みつほし}三ツ星学園

【校名にこめられた思い】

- ① 子供たち一人一人が主人公、個人でもみんなでも星のように輝く学園をめざしていく。
- ② 「三ツ星」（未来に向かって輝くための目標や姿）を、児童生徒、教職員、保護者、地域の方とともにめざしていく。
- ③ 「三ツ星」の名称は、これまでも教育活動の名称に使われ親しみやすく、築き上げてきたよさを引き継ぎ、さらなる発展をめざしていく。

～北部地域の義務教育学校名～

川根本町立^{ひかり もり}光の森学園

【校名にこめられた思い】

- ① 子供たちの笑顔がずっと輝き続ける学園をめざしていく。
- ② 子供たち一人一人が主役、主体的な活動を推進し、輝く自分をめざしていく。
- ③ 光岳のように子供たちが光り輝き、南アルプスにある自然（森）の中で、児童生徒・教職員・保護者・地域の方が集まり、高め合う学園をめざしていく。

「〇〇小学校・〇〇中学校」にあたる部分を「〇〇学園」とします。「学園」とは

- ① 「複数の校種（こうしゅ）が含まれた学校」を意味します。
- ② 地域に開かれたイメージをもち、児童生徒だけでなく、地域の人たちも交流ができ、地域全体で学んでいく学びの園を意味します。
- ③ 義務教育学校が核となり、社会教育、家庭教育と連携し、学びの気風に満ちた園を意味し、10年後、20年後のキャリア発達をめざします。

校名検討の経過や校名の意味について、保護者、児童生徒への説明会を行いました。

<南部地域>



児童生徒から「三ツ星や学園に、いろいろな思いがこめられていることがわかった」「いい名前だと思った」「三ツ星の意味、一人一人が輝いてほしい、オリオン座の三ツ星などの意味を聞いて、三ツ星学園の生徒になってがんばりたい」「第一期生としてがんばっていこうと思いました」など、肯定的な感想や意見が92.2%の割合で見られました。

<北部地域>



児童生徒から「わくわくしてすごくいい名前だと思った」「1年生から9年生まで輝けるようがんばりたい」「本川根小最後の卒業生として歴史をつないでいきたい」「今までにない新しい学校になっていく気がした。私は、この名前がベストだと思う」という肯定的な感想や意見が96.8%の割合で見られました。

「校名を決めるために多くの人に関わってくれた」「みなさんが気持ちをこめて校名を考えてくれた」「会議をしてくれた人に感謝したい」という感想や「どんな学校にするかが大事、最上級生としてどうやって下級生たちをまとめるか考えていきたい」「渡り廊下はいつ完成するのか」など、感謝の気持ちとともに、新しい学校の中身についての感想や質問もありました。これからの6ヶ月で、情報を共有しながら、新しい学校づくりへの準備に努めていきます。今後ともよろしくお願いたします。